

市民生活・環境関係

件 名	高齢者のゴミ対策について
内 容	高齢者のゴミ出しで最近の課題として表面化しているのは「おむつゴミなどによるゴミの重量増加」です。 市は「分別強化でゴミ減量」を掲げていますが、要介護者が出すおむつゴミなどは高齢化が進む事に比例して増えてくる事が予想されます。 また、認知機能が衰えてくる事でゴミの分別も満足に出来なくなる人の増加も予測されます。 このような事態に対処するためには「高齢者に関するゴミ対策」の検討を進めておく事が必要であると考えています。 上記の観点から、ゴミ処理担当課の職員と高齢者対応ゴミ処理の話をしたところ、「担当部署として必要な事はやっている。高齢者問題は高齢者福祉課が考える事」との返答が返って来ました。 縦の流れだけを考えれば担当課の仕事として充分との事の様ですが、関係各課との横の連携を取って業務遂行する意識を持っていないのは問題では無いでしょうか？ 組織トップとしての見解をお聞きしたいです。 今の状況がまずいとお考えならば、どの様に意識改革を進めて行くのかについてもご提示をお願いします。
回 答	白井市で発生するごみの処理については、印西市、白井市および栄町で一部事務組合（印西地区環境整備事業組合）を設立し、共同処理を行っており、当該組合では廃棄物行政の指針となる「印西地区ごみ処理基本計画」を策定し、組合および構成市町が実施する施策をそれぞれ定めています。 御指摘いただきました高齢者のごみ対策につきましては、当該計画においても課題として捉えており、ごみ出し困難者への対応の検討、住民ニーズに沿った対応策や収集体制を構築していくことについて、当該組合と共に調査・研究を行っているところです。 「ごみ対策」のような課題に対しては、市では、必要な情報の共有化、課題解決に向けた庁内の連携を意識して業務にあたる必要があることと捉えており、今後も職員に対しては意識の徹底を図ってまいります。 （関係課：環境課、高齢者福祉課）